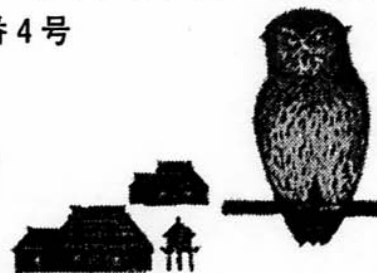


コタンメール

第11号 2004年9月15日 発行



あっ！ あった！！ カワシンジュガイを採ろう

平成16年度第4回アイヌ語教室



カワシンジュガイを採る



穂摘み具 ピパ



川の中にあるカワシンジュガイの様子

8月29日、日曜日。第4回アイヌ語教室の参加者10名は、千歳川でカワシンジュガイの採取を行いました。

講師は、アイヌ文化伝承者の野本久栄さん。

今年、アイヌ民族博物館では、野外展示整備の一環として、かつての農耕を再現するため、穀物の栽培を試みました。

まいた種は、ヒエ、アワ、イナキビの3種類で、種子は道立植物遺伝資源センターと、北海道開拓の村のご協力でそろえることができました。

そこで、今度は収穫に使う「穂づみ具」を作ってみようということになり、カワシンジュガイの採取になったのです。

穀物の採取は、穂に近い茎を摘み取りますが、その時使う道具がピパと呼ばれる「穂づみ具」で、カワシンジュガイで作ります。

カワシンジュガイもアイヌ語でピパといいます。

貝の方のピパは川底が砂礫されきの清流に住んでいます。野本さんに案内されたところは、まさにその条件を満たした川でした。

最初はどこにどのようにいるのかわかりませんで

したが、野本さんがいち早く見つけて、みんながその状態を確かめると、あちこちでも、「あった！ あった！」と歓声があがりました。

カワシンジュガイは東北地方以南では、絶滅まぐしゅ危険種に指定されている希少生物ですし、私達の先祖も同じようにして子孫に恵みを残してくれたのですから、その教えを守らなければなりません。

そこで、私達も採取は一人4～5個にとどめました。

ピパはその後、貝殻に穴をあけて、ひもを通し、穂づみ具のピパに加工します。

収穫の時は、貝を手の中に収めるように持ち、穂の下の茎から摘み取ります。

穂はニス(臼)とイユタニ(杵)を使って脱穀、精穀をし、ヒエとアワは主にお粥に、キビはお団子にしたのだそうです。

種まきが遅く、台風がきた原因もあって、館の穀物畑の実りはあまり良くないのが心配です。

シキナ(がま)を干す

台風の名残が少し蒸し暑いけど、晴れ上がった9月2日、館の前ではシキナの乾燥が始まりました。

シキナは2~3日天日で乾燥して、ソネ(敷物)を作る材料にします。一本一本がよい材料に仕上がるように、カムイからの贈り物を大切に扱いながら地面に並べる作業が続きます。



● これからの行事

9月	17日	金	白老消費者生活展(コミュニティーセンター)
	19日	日	第7回アイヌ語教室「アイヌ民具とシンポジウム」 (だて歴史の杜カルチャーセンター・善光寺)
10月	29日	水	第8回アイヌ語教室「ユカヲを読む」 講師:大須賀るえ子氏
	2日	土	第2回アイヌ文化・第9回アイヌ語教室「ピパを作ろう」
10月	6日	水	第10回アイヌ語教室 講師:本田優子氏
	10日	日	苫小牧駒澤大学アイヌ語弁論大会
	13日	水	「アイヌー祈りの世界」展開催 (フィンランド・タンペレ博物館)

ミュージアムショップ

イカラカラ

売れすじ書籍ベスト5

1位 アイヌ文化の基礎知識

(アイヌ民族博物館 監修)

2位 アイヌの昔話集

(濱岡 則子 発行)

3位 アイヌの昔話

(萱野 茂 著)

4位 アイヌと植物(薬用編)

(アイヌ民族博物館 発行)

5位 地名アイヌ語小辞典

(知里真志保 著)

世界の国から いらっしやい

たくさんの外国人が当館を訪れます。

近ごろ館長室で話しこんでいった外国人は…

- ◎ ニュージーランドから来たノーマン・ブラックリーさん。
マオリ語を勉強している人。アイヌの自然観について語る。
- ◎ ロシアから来たアンドレさん。サンクトペテルブルグの有名な博物館クンストカメラの資料担当員。アイヌ民族の人類学的質問。
- ◎ フランス。マルセイユのジャン・クラウド・サルドウーさん。写真家であり、詩人。詩や映画の話が弾む。ポロトの景観と伝統舞踊に得るものあり。

みなさんの学習室開設

今年、ご来館のみなさんが利用できる学習室ができ、毎日大勢の人達が本を読んだり、ビデオを観たり、ムックリの練習をしたりしています。

ぜひおいでください。詳しくは次号で。

編集者の言葉 人手不足のためしばらくお休みしていたコタンメールを復刊いたします。アイヌ民族博物館のことをもっと知っていただき、もっとご利用いただくことを目標にして紙面をつくっていくつもりです。

まだまだ未熟者ですが、皆さんに読まれる記事を書けるよう努力します。読後感想などをお寄せいただくと励みになります。どうぞよろしく。 木田瑞恵

- コタンメールはホームページでも見られます。

THE AINU MUSEUM アイヌ民族博物館

U R L : <http://www.ainu-museum.or.jp>

E-mail : museum@ainu-museum.or.jp